

紀南病院公開講演会

がんになっても人生は続く

「診断後」も自分らしく生きるヒント

現代医療の進歩によって、がんと診断されても日常生活を送れるようになりました。そこで診断や治療後にも、その方らしい生き方をするための考え方のヒントをお伝えします。また本人や家族、職場や地域で活用できる相談窓口や情報を得る方法、サポート体制についてご紹介します。

12月6日(土)

御浜町役場 3F

14:00～16:00

くろしおホール



入場無料

講師：東京大学大学院講師

高橋 都

座長：紀南病院 副院長

西久保 公映



託児室を用意しています。無料です。事前にご連絡下さい。締切：12月1日(月)

電話：紀南病院 05979-2-1333 担当者：総務課・三石、3階中央病棟・田中、烏藤



講師紹介：高橋 都 (たかはし みやこ)

東京大学大学院医学系研究科老年社会科学分野講師（内科医、保健学博士）。

内科診療のかたわら、がん治療を受ける本人や家族の生活の質に関する研究に従事。

「がん患者の〈幸せな性〉新装版」（共訳、春秋社、2006）

「がんを生きるガイド」（共著、日経 BP 社、2006）など、著書・論文多数。